

様式第2号（省令規定様式第2）

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

※「記入の方法」は下部に記載しています。

<p>① 宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第12条第1項 第30条第1項 } の規定により、</p> <p>許可を申請します。</p> <p>×年 ×月 ×日</p> <p>盛岡市長 ×× ×× 様</p> <p>② 申請者 氏名 株式会社モリオカ 代表取締役社長 盛岡 太郎</p>		<p>③ ※手数料欄</p>		
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	岩手県盛岡市内丸××番地 株式会社モリオカ 代表取締役社長 盛岡 太郎 (同住所 取締役 盛岡 二郎 同住所 取締役 盛岡 三郎)			
2 設計者住所氏名	岩手県●●市●●×番地●●設計事務所 岩手太郎			
3 工事施行者住所氏名	岩手県●●市●●×番地 有限会社モリオカ 代表取締役 玉山 二郎			
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	岩手県●●市●●町×-× 外×筆 (緯度: 39度 ××分 ××秒、 経度: 141度 ××分 ××秒)			
5 土地の面積	2,000.00 平方メートル			
6 工事着手前の土地利用状況	宅地 (空き地)			
7 工事完了後の土地利用	宅地 (駐車場)			
8 盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9 土地の地形	溪流等への該当 有・無			
10 工事の概要	イ 盛土又は切土の高さ	3.00 メートル		
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	500.00 平方メートル		
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	1,000.00 立方メートル	
		切土	500.00 立方メートル	
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ
1		RC 構造	3.00 メートル	10.00 メートル
2		間知石練積み造	2.00 メートル	10.00 メートル

ホ 崖面崩壊防止施設	番 号	種 類	高 さ	延 長	
	1	大型かご枠工	2.00メートル	10.00メートル	
へ 排 水 施 設	番 号	種 類	内法寸法	延 長	
	1	U型側溝	30センチメートル	20.00メートル	
	2	集水柵	50センチメートル	1箇所	
ト 崖面の保護の方法	擁壁及び大型かご枠の設置				⑮
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	張芝工				⑯
リ 工事中の危害防止のための措置	土留矢板・土嚢設置、転落防止措置、防護柵設置				⑰
ヌ その他の措置	西側水路に土砂流出の防止措置				⑱
ル 工事着手予定年月日	×年	×月	×日		⑳
ロ 工事完了予定年月日	×年	×月	×日		
ワ 工 程 の 概 要	別紙工程表のとおり				㉑
11 その他必要な事項	××法による××許可申請中				㉒
※受 付 欄	※決 裁 欄	※ 許可に当たって付した条件		※許 可 番 号 欄	
年 月 日				年 月 日	
第 号				第 号	
係員氏名				係員氏名	
〔注意〕					
1 ※印のある欄は記入しないでください。					
2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。					
3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。					
4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。					
5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。					
6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。					
7 8欄は、該当する盛土タイプに○印を付してください(複数選択可)。					
8 9欄は、溪流等(令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。)への該当の有無のいずれかに○印を付してください。					
9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。					

記入の方法

- ① 【第12条第1項又は第30条第1項】該当しない規定を抹消してください。

なお、盛土又は切土をする土地が2種類の規制区域に跨る場合には、手引P11に記載の取扱いを参照してください。

規定	内容
第12条第1項	宅地造成等工事規制区域内において行われる宅地造成等に関する工事
第30条第1項	特定盛土等規制区域内において行われる特定盛土等に関する工事

- ② 【申請者】工事主が申請者となります。（工事主とは、工事の請負契約の注文者又は自ら工事をする者となります。）法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ③ 【手数料】記入は不要です。申請の際には、盛土又は切土をする土地の面積に応じた手数料（盛岡市収入証紙）が必要となります。
- ④ 【工事主住所氏名】工事主が法人であるときは、工事主の住所氏名のほか、法人役員（法人の登記簿謄本（履歴事項全部証明書）に記載された取締役。また、登記簿謄本に記載されない、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有する者がいる場合はその者を含む。）の住所氏名を記入してください。法人役員について記入欄に書ききれない場合は、「別紙のとおり」と記載し、別紙により記載いただいで構いません。
- ⑤ 【設計者住所氏名】申請内容に、以下の「資格を有する者の設計によらなければならない工事」を含むときは、氏名の横に○印を付してください。

資格を有する者の設計によらなければならない工事
・ 高さが5メートルを超える擁壁の設置 ・ 盛土又は切土をする土地の面積が1,500 m ² を超える土地における排水施設の設置

- ⑥ 【工事施行者住所氏名】法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。やむを得ない理由により、申請時点で工事施行者が確定していない場合は、申請時は「未定」としてください。ただし、工事着手までに工事施行者の能力を証する書類を提出し、工事施行能力に係る審査を受ける必要があります。
- ⑦ 【土地の所在地及び地番】所在地及び地番については、「5土地の面積」に記載する土地の地番を全て記載してください。（記入欄に書ききれない場合は、「外」と記載し、別紙により記載いただいで構いません。）
- また、緯度経度については、盛土・切土の高さが最大となる箇所を代表地点とし、緯度及び経度を世界測地系により記載してください。（座標確認方法：地理院地図など）
- ⑧ 【土地の面積】工事をする土地及び工事に関連する土地（一体的に利用する土地）の面積を記載してください。
- ⑨ 【工事着手前の土地利用状況・工事完了後の土地利用】下記の分類での土地の種別を記載し、括弧書きで具体的な利用実態を記載してください。工事完了後の土地利用については建築物等の建築の有無等及び具体的な内容を記載してください。

土地の種別	定義
宅地	「農地」、「採草放牧地」、「森林」及び「公共施設用地」以外の土地
農地	農地法・森林法による、「農地」、「採草放牧地」及び「森林」を指し、その利用に必要な農道、農業用排水施設を含む。（不動産登記法の地目ではなく利用実態に基づくもの。）
採草放牧地	
森林	

- ⑩ 【盛土のタイプ】複数の盛土タイプに該当する場合には、全て選択してください。切土のみの場合には記載不要です。タイプの定義は下記のとおりとなります。
- (1) 平地盛土：勾配1/10以下の平坦地において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
 - (2) 腹付け盛土：勾配1/10超の傾斜地盤上において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
 - (3) 谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土
- ⑪ 【土地の地形】盛土・切土を行う土地が、「溪流等」の範囲に含まれる場合は「有」に○印を付してください。「溪流等」の詳細は手引P18を参照し、その範囲については「いわて盛土情報システム」から確認してください。
- ⑫ 【盛土又は切土の高さ】盛土・切土の最大の箇所の高さを記載してください。
- ⑬ 【盛土又は切土をする土地の面積】盛土又は切土をする全ての土地の面積の計を記載してください。
- ⑭ 【盛土又は切土の土量】盛土又は切土をする土量の合計を記載してください。
- ⑮ 【擁壁・崖面崩壊防止施設・排水施設】平面図等に対応するよう構造、種別ごと番号を付し記載してください。数が多い場合には別紙としてください。
- ⑯ 【崖面の保護の方法】擁壁、崖面崩壊防止施設の設置について記載してください。
- ⑰ 【崖面以外の地表面の保護の方法】法面緑化工やコンクリート張工などの方法を記載してください。
- ⑱ 【工事中の危害防止のための措置】工事施工中の土砂流出防止工、転落防止措置、防護柵、仮排水工、防災調整池の設置等の実施の概要について記載してください。
- ⑲ 【その他の措置】他の欄に記載しているものの他、特筆すべき措置を実施する場合は記載してください。
- ⑳ 【工事着手予定年月日】許可取得後速やかに工事に着手する場合は、「許可取得日の●日後」と記載してください。
- ㉑ 【工程の概要】主な工程ごとの概算日数を記載してください。又は、「別紙工程表のとおり」とし、工程表を添付してください。
- ㉒ 【その他必要な事項】宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合のみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。